

関西電力からのお願い

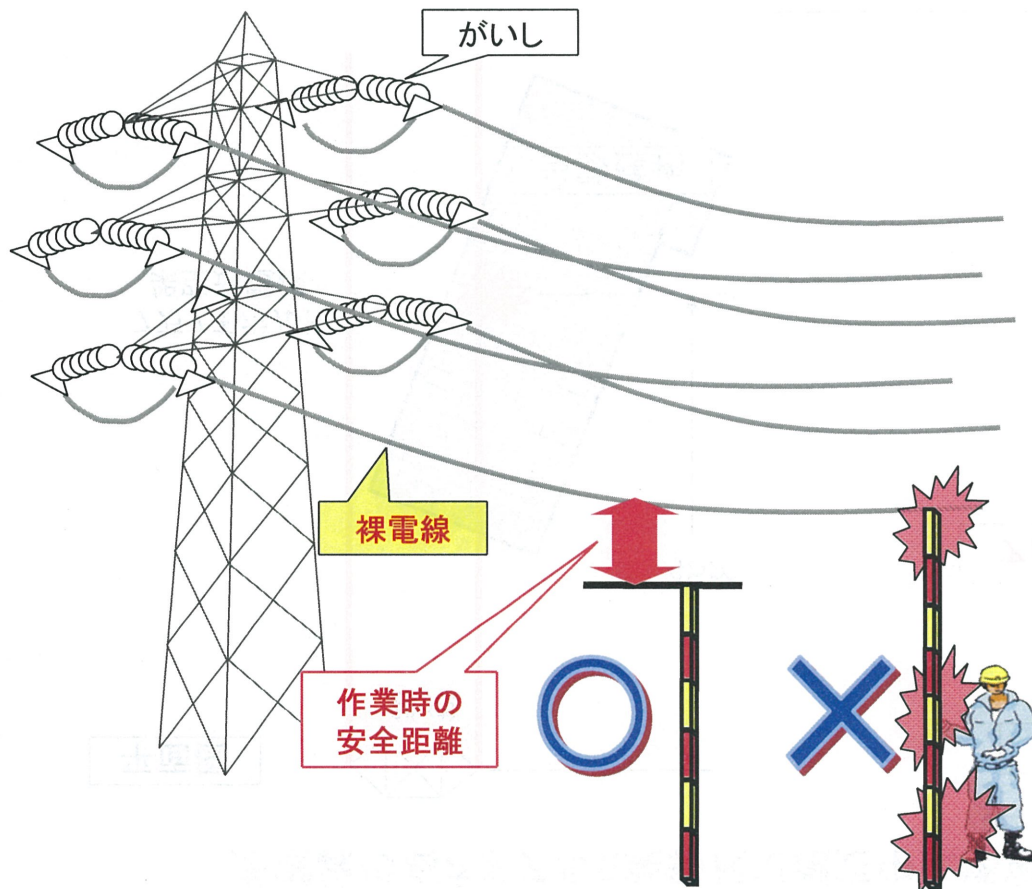
送電線や配電線付近で重機(クレーン車、コンクリートポンプ車等)を使用して作業される場合や長尺物(アルミ製箱尺、TVアンテナ等)を上げたり振り回すと、送電線に接近又は接触し、感電する恐れがあります。感電すると大怪我をして尊い命をおとすこともあります。又、場合によっては多くのご家庭や工場、公共機関等を停電させ、社会的に大きな影響を与えます。

送電線や配電線付近で作業される場合は下記の点に注意するとともに、関西電力までご連絡下さい。

1. 重機や長尺物が送電線や配電線に接近するだけでも感電する恐れがあります。
特にクレーン車やアルミ製箱尺、TVアンテナ等は金属性のため電気をよく通しますのでご注意ください。
2. 送電線や配電線付近で工事、作業、調査等をされるときは、関西電力までご連絡下さい。

送電線の高さ測定・必要に応じた施工協議・立会を無料でさせていただきます。

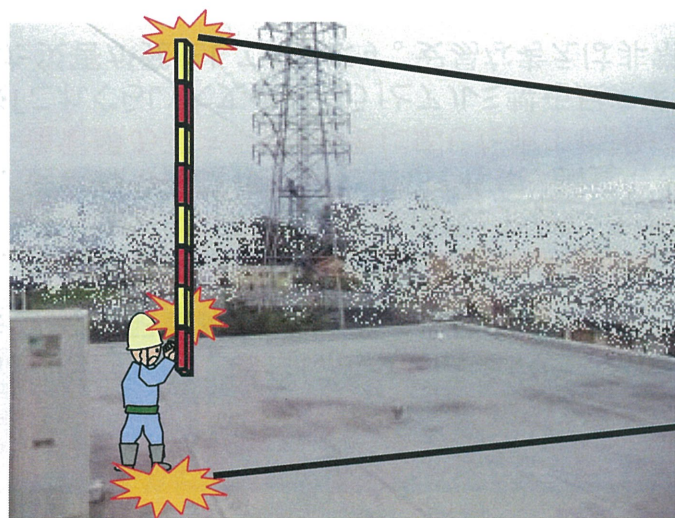
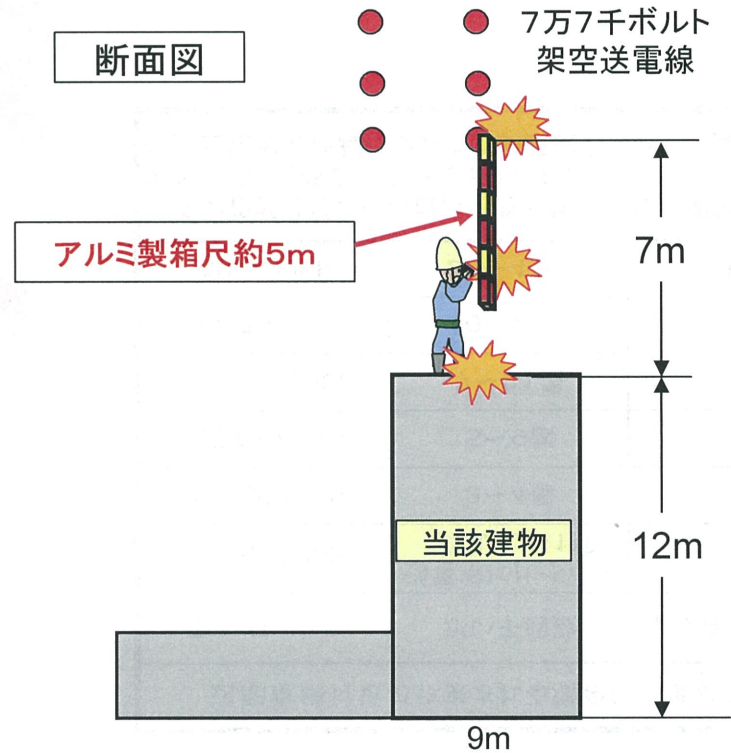
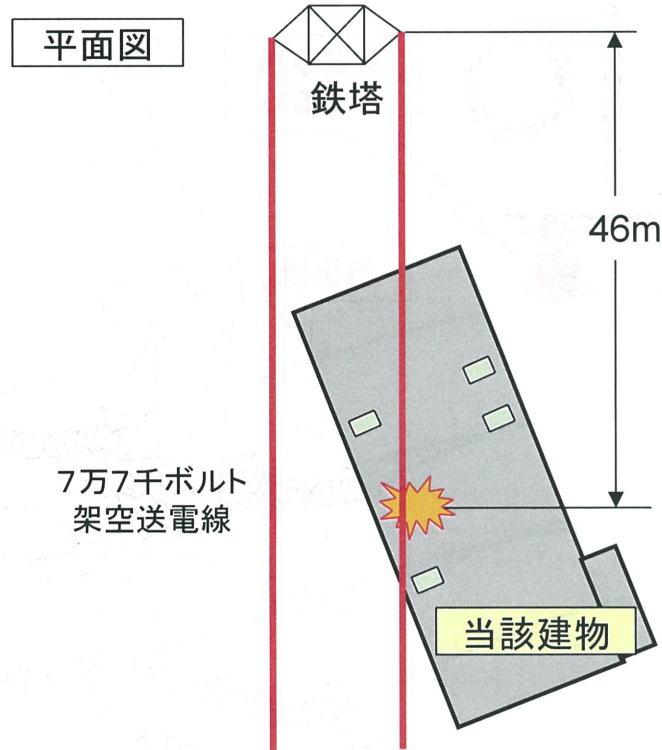
※「これぐらい大丈夫だろう」とアルミ製箱尺を送電線に伸ばし感電した災害やコンクリートポンプ車ブーム介錯中に特高線に触れ感電した災害が発生しております。安易な考えは非常に危険ですので重ねてお願い申し上げます。



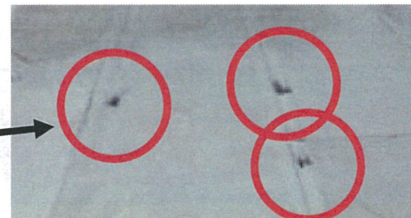
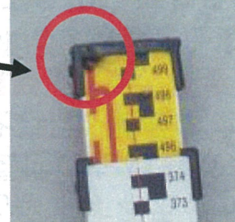
送配電線付近で作業される場合に必要な安全距離		
電 圧 (V)	がい子個数	作業時の安全距離 ※
6千6百ボルト	送電線に比べ小さながいしが1個	2.0m
2~3万ボルト	3~4個	3.0m
7万7千ボルト	5~9個	4.0m
15万4千ボルト	7~21個	5.0m
27万5千ボルト	16~25個	7.0m
50万ボルト	20~41個	11.0m

電線は絶縁性ビニール被覆で覆われていない裸電線のため、接近するだけで感電する恐れがあります。
※安全距離の詳細については関西電力までご相談ください。

送電線の高さをアルミ製箱尺で測定中に感電〔平成24年7月11日(水)発生〕



流入箇所: 箱尺先端



アーク跡(流出箇所: 屋上3箇所)

<作業状況>

建物調査工事で建物屋上から送電線の高さをアルミ製箱尺で測定しようとし、誤って送電線に接近して感電災害が発生しました。